

スーリールファム通信



カープとマツダが元気なら なんとかなるそうです

2017年2月、中国地方の大都会。広島に行ってきました。



最初に、もうタイトルで言ってしまうんですが「広島は、カープとマツダが元気ならなんとかなる」そうです。山と海に挟まれて美味しいものがたくさん。

知らなかったけれど、1000円ショップの老舗も、あの企業もこの企業も広島発祥という企業。

ヨーグルトでお馴染みのチチヤスも元は広島のおーナー企業による牧場、乳業企業だったのだとか。

さて、広島といえばオバマさんのときになまった「賀茂鶴」をはじめ美味しい日本

酒がたくさんある酒どころ。広島市西条では毎年「酒まつり」という毛口名前の祭りがあり、全国から酒飲みが集合するらしいです。

食べ物では、瀬戸内海の魚介はもちろんですが、タケイ牛なども、美味しい。丸くてぶっくりした牡蠣もいただきました。

穴子飯も有名ですが、穴子のお造りというのも初めていただきました。

地元の方からは、「もみじ饅頭はどこそこがおすすすめ」とか「川通り餅という銘菓もありますよ」と銘菓情報をいただき、販売店で買い求めました。

今回、同行した女性は、「以前、広島の方からいただいた青いレモンがとても美味しかった！」ということで探してまわりましたが、地元の方々に聞いてもあまり知られておらず、ザンネン！

やっとデパートで入手。海側島々の地域と広島都市部では気候も雰囲気も多分、人の意識も、大きく違うことを認識しました。

都市部は安芸国という地域文化をととても大事にされてい

るようです。

また、中国地方全体を見ますと、山口県は九州を向いており、九州と連携した取り組みが多そうです。

岡山は四国岡山としてまとまって取り組み。島根鳥取も中国地方というより、備前備中備後？の流れなんだろうかね。そっちの絆が強そう。

なかなか話がまとまらないこともある悩める中国地方。

そんな話を伺うと、地政学についての勉強が必要だな、と感じました。

